



Tanabe East Rotary Club in 2019-20

2019-20年度RI会長

マーク・ダニエル・マローニー

第2640地区ガバナー：中野 均

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：中嶋 伸和

幹事：早稲田 清司



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

○会長報告

会長 中嶋伸和



■9月25日(水) 新宮RCの例会にて、ガバナー公式訪問の為にガバナー補佐として武田静也君に出席して頂きました。ご苦労様でした。

■9月26日(木) 那智勝浦RCの例会にて、ガバナー公式訪問の為にガバナー補佐として武田静也君に出席して頂きました。ご苦労様でした。

■本日のお弁当企画(奉仕B委員会)は「宝来寿司」さんです。ご賞味下さい。

■本日のお客様は、田辺市 商工観光部 商工振興課 課長 丸山 勝司(まるやま かつし)様です。後ほど宜しくお願い致します。

○幹事報告

幹事 早稲田 清司

代理 野村 憲司



◎国際ロータリー日本事務局 | クラブ地区支援室より
「定款・細則と2019年手続要覧について

『組織規定 | My Rotary』

「地域社会の経済発展月間 リソースのご案内」

「財団室NEWS 9月号、10月号」

◎中野ガバナー事務所より

「地区大会選挙人会議のご案内」

「地区大会信任状書式」

「2019年End Polio Nowリソースのご案内」

「ロータリーとポリオ」

◎樫畑直前ガバナー事務所より

「2018-2019年度国際ロータリー第2640地区会計報告のお知らせ」

「国際ロータリー-第2640地区2018-2019年度会計報告書」

◎久保PDGより

「樫畑直前直前ガバナーに苦言を呈します」

◎藤井ガバナーエレクト事務所より

「国際ロータリー第2640地区 ガバナーエレクト事務所開設のご案内」

■連絡

◎10月のロータリーレートは 1ドル=108円 です。

◎「ロータリーの友10月号」が届いています。

各自トレーに入れてあります。宜しくお願い致します。

■例会日時変更

◎白浜RC

10月11日(金) → 10月10日(木) 19:00～

場所：福重

10月18日(金) → 休会

10月25日(金) → 休会

■メイクアップ

◎9月25日(水) 新宮RC：ガバナー公式訪問

武田静也君

◎9月26日(木) 那智勝浦RC：ガバナー公式訪問

武田静也君

■回覧

◎週報「串本RC」

◎「英語版ロータリアン10月号」

◎田辺市暴力追放協議会より

「令和元年 田辺市暴力追放決起集会及び街頭啓発パレードの実施について(ご案内)」

◎南方熊楠顕彰会より

「熊楠ワークス(第54号)の送付について(ご案内)」

○出席報告

会員数 43名 義務免除 4名 本日の欠席者 7名
本日出席率 82.05% 9月11日の修正出席率94.87%

○本日の唱歌

君が代
虫のこえ 唱歌委員 佐田 一三君



○本日のゲスト・ビジターの紹介

田辺市 商工観光部 商工振興課 課長 丸山 勝司 様



○にこにこ報告

(敬称略)

◇丸山勝司様をお迎えして。

上原俊宏、岡本博、木村壽一、坂本正人
佐田一三、竹中悟、谷中順次郎、玉置佳範
中嶋伸和、那須壽子、西谷貞彦、野村憲司
本田耕二、丸山博之、森本修至、山本亘
渡口真二

◇結婚記念日

◎愛須勝章 何も無いです。空気です。
ラ・ビームが今月で閉まるから丸山さんの
奥さんらと又ゴルフに行きました。

◎畑地誠 50年にもなりました。(金婚式)

◇結婚記念日

橋本隆、片井貢、武田静也

◇本人誕生日

◎吉田和枝 昨日は秋の野山で栗拾いに参加しまし
た。山のオゾンをいっぱい吸い、野草の鑑賞も
し、ホントニ、日本の四季はスバラシイ！
ちなみに秋の七草はハギ、オバナ（すすき）、
クズ、オミナエシ、フジバカマ、ナデシコ、
キキョウ、以上

◎丸山健 10月6日で46歳になります。まだまだ若輩
ではございますが健康と家内円満を心がけて精
進いたします。

◎畔田実

◇奥様誕生日

愛須勝章、丸山博之、武田静也

◇後藤信博 お花いただきます。

○本日のプログラム

田辺市 商工観光部 商工振興課
課長 丸山 勝司 様



田辺市の商工業について

田辺市商工振興課丸山です。本日は、田辺東ロータリー
クラブ例会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

本日の講演にあたって、担当の方から、「今後の田
辺市の商工業の展望」というお題をいただきました。
この話を係長から聞いたとき、どうしようと思いま
した。

経済界の皆さんの前で、経済アナリストでもない役
場の担当には荷が重い話で、皆さんの方が、見識をお
持ちだと思います。と、いうことで、テーマは「田
辺市の商工業について」に変更をお願いし、プレッシャー
を下げさせていただきました。

「田辺市の商工業？こちらはプロや」とおっしゃる
かもしれませんが、ご容赦いただき、退屈になりまし

たらゆっくりお休みいただければ結構かと思いたすの
で、どうぞよろしくお願いいたします。

ご承知の通り、田辺市は、古くから商業の街です。
古の時代、熊野古道の時代、もっと前かもしれませ
んが、牟婁の津と呼ばれた時代から、熊野と京の都を
結ぶルートのもで、多くの人々の往来があつて、往来す
る人向けに宿泊や飲食、物資供給などのサービス提供
の拠点として栄え、また、周辺の観光地の消費を支え
るとともに、紀伊半島南部に住む人の衣食住などの生
活需要の応えることで発展してきました。



北新町のにぎわい (紀伊名所絵)

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

また、工業につきましては、地域資源活用型の製造業が田辺市の地域経済を支えていました。かつて製材業、ボタン製造業、梅干製造業、水産加工業、水産練製品製造業が田辺市の地場産業と言われ、多くの雇用を生み、市民の生活の糧となっていました。

工業製品は、当然地元でも消費されますが、多くは、中央の都市部に供給されて、外からお金が入ってきて、賃金となって、地域商業の消費拡大へとつながっていました。

そういったことから、田辺市の商工業は古くから外貨を稼いで、経済を活性化させ富を生み出していたと考えます。



しかし、近年交通事情の進展とともに、都市部資本による大型店舗の立地や消費行動の広域化等で、地元商業は残念ながらかつての勢いは見えない状況で、地場産業も高度経済成長とともに経済圏が国内から世界に拡大、大型資本の低コスト製品が世界中を流通するようになって、競争が激化、ご存じのとおり梅干し製造業を除いて、事業所がどんどん減ってきました。

そこで、統計資料をご覧いただきたいと思います。

統計からみた商工業

資料：商業統計調査、経済センサス				
商業	事業所数	従業員数	年間商品販売額(万円)	1事業所当たりの販売額(円)
平成14年	1,770	8,863	19,902,436	112,443,141
平成19年	1,534	7,463	19,339,691	126,073,605
平成24年	1,223	5,869	16,294,800	133,236,304
平成26年	1,137	5,902	17,958,455	157,945,954

資料：工業統計調査、経済センサス				
工業	事業所数(4人以上)	従業員数	製造品出荷額(万円)	1事業所当たりの出荷額(円)
平成24年	162	2,542	3,775,100	233,030,864
平成25年	151	2,539	3,726,866	246,812,318
平成26年	146	2,602	3,928,864	269,100,274
平成28年	166	2,579	4,002,897	241,138,373
平成29年	132	2,560	4,290,234	325,017,727

商業統計です。事業所、従業員、年間販売額も減ってきています。皆さんの認識のとおりだと思います。

工業統計です。事業所は減って、雇用は横ばい、製造品出荷額は伸びています。皆さんのご尽力で、雇用は維持され、売り上げは伸ばしていただいているという結果となっております。これは、田辺市の基幹産業である梅産業、梅干製造業の拡大が大きな要因であることはご想像のとおりです。

では、事業所当たりの販売額、出荷額はと申しますと、商工業とも伸びており、一概には言えませんが、事業を継続している方は繁盛しているとも言えます。もちろん多大なご努力と経営手腕を発揮してのことです。

ちなみに、農林水産業ではどうか？

御覧の通り、高齢化に伴い事業体数は減る一方ですが、農業においては大きく産出額を伸ばしています。ご想像のとおり梅であります。最近ではミカンも相当頑張っているところですが。

梅を生産し、加工し、外貨を稼せぐ。田辺市の産業の基盤はやはり梅産業といえます。

豊作や不作、はやり、すたりなどブームも当然ありますが、原料が地域にあることは、第一のアドバンテージだと思います。

田辺市のみならず、日本全国、東京以外は人口が減少し、高齢化と相まって働く世代の人口減少は深刻といわれています。これは避けようがないと思いますが、先ほどの統計のとおり、店舗や事業所が減り、雇用も少なくなる。しかし地域の資源を生かして生産性を維持することで、一人当たりの収入は増えるという状況も生まれ、ある意味チャンスではないでしょうか？

今、田辺市では、若手の事業家や起業・操業を目指す方々を集めてみらい創造塾を開催して、地域課題をビジネスの視点でとらえ、自ら事業化する取り組みを行っています。



卒業生の7割は新しく事業を始めております。参加されている塾生の皆さんは、大変熱心に志も高く、指導していただいている先生方や金融機関からは、田辺市の若者の施潜在能力を高く評価していると伺って

ます。そういった若者がいる一方で、後継者がいないという話をよく耳にします。しかしよくよく聞いてみますと、この商売はもうあかん、公務員になれ。とか、帰ってきて働く場所ないから戻ってくるなと言うたつた、ということもたびたび聞きます。

これは、ぜひやめていただきたいです。

店を継げとか、家督を継げとか、今時強制できる時代ではないのですが、「継ぐな」とか「帰ってくるな」は言わないでいただきたいです。

みらい創造塾に参加されている若い方々を見ていますと、私よりしっかりしているように思えます。

皆さんのようなベテランの経験と若い方々の発想で、新しいビジネスが生まれるかもしれません。

商工業の活性化、地域経済の発展と言う単語をよく使いますが、簡単ではないことは、経済の荒波に身を置いている皆様が一番ご存じだと思います。

市といたしまして、先ほどの紹介したみらい創造塾などの若者の起業創業支援や、県や白浜町と連携して取り組んでいる都市部のICT関連企業のテレワーク・ワーケーション・サテライトオフィスの誘致による、若者の働く場の創出をはかり、このことによって市街地の空き家空き店舗が解消される。そして、都市部のICT関連企業と地域企業や若者の創業ビジネスが交流することで、また新たな展開が生まれる。そのような関係構築を目指してまいります。



〇今日のお弁当

宝来寿司さん
今日もごちそうさま



〇次回プログラム

10月16日
米山奨学生 シャフィック・ミナ・カマル・アシャム様
10月23日
例会休会 (祝日(22日)のある週は休会にできる)
10月30日
内卓 稗田智則会員

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか